



2023年1月13日

各位

会社名株式会社サーバーワークス
代表者名代表取締役社長大石良
(コード番号：4434 東証プライム市場)
問合わせ先 取締役 大塩 啓行
TEL. 03-5579-8029

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年4月14日に公表いたしました2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 修正の内容

2023年2月期通期連結業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,485	百万円 429	百万円 453	百万円 373	円 銭 48.74
今回修正予想(B)	16,987	491	558	433	56.07
増減額(B-A)	3,501	62	104	59	
増減率(%)	26.0	14.6	23.0	16.1	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	10,920	638	653	442	57.74

(注) 2022年2月期及び2023年2月期の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 修正の理由

当社グループは、クラウド専門インテグレーターとして、AWSを中心としたクラウド基盤に関するコンサルティング、基盤構築・運用、クラウドサービスの機能強化、並びにシェア獲得によるビジネスの拡大に尽力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことによる受注環境の改善、顧客のAWS利用の増加及び、為替相場の好影響等に加え、2022年6月30日付で株式会社トップゲートを連結子会社化するなどM&Aを活用した事業拡大も奏功し順調に成長することができました。

一方で、通期業績予想の達成を前提とした特別一時金の支給に加えて、連結対象となる株式会社G-genは設立間もないこともあり売上獲得の為に労務費及び人件費等のコストが先行して発生しており、売上原価、販管費が増加する見込みであります。2023年2月期の通期業績予想におきましては、売上高が大幅に増加した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益すべての各利益においても前回発表予想を上回る水準で推移する見込みとなりました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な

要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上